

今回報告の定例会は



たてやま議会だより

令和8年3月号

未来に残したい館山の風景



ランタンに想いを乗せて

撮影者：山崎貴史 さん

第4回定例会

案決
原可

・館山市基本構想
・「こども誰でも通園制度」に関する条例
・物価高騰への支援事業
(館山くらし応援商品券ほか)の
補正予算など22件を議決

本会議 一般議案質疑

◇議案第67号 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

問 市民が組織変更を受け入れ、スムーズに慣れ親しむのに、どのくらい時間がかかると思いますか。

答 部の統合に伴い、課について、一部統合や配置替えを予定しており、組織体制が大きく変わります。

速やかに広報紙やホームページで周知を図り、4月の改編後、市民の皆様が混乱することのないよう努めていきます。

◇議案第70号 館山市基本構想を定めることについて

問 「コンパクトで効率的な都市構造への転換」への考え方について伺います。

答 国が提唱・推進する「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基づき、「持続可能な都市」の実現を目指そうとするものです。単に、中心エリアへ人口や都市機能を集中させるのではなく、それぞれのエリアの特性に応じた生活拠点を定め、中心エリアと生活拠点を公共交通ネットワークで結ぶことで、生活サービスの維持やコミュニティを継続させようとするものです。

常任委員会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

委員長 鈴木ひとみ
副委員長 鈴木明子
委員 鈴木秀徳
委員 谷川宏浩
委員 石井敏正
委員 太田浩一
委員 鈴木正一

総務委員会には、10件の議案が付託され、慎重審査の結果、全ての議案について、全員一致をもって可決されました。主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第67号 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について

問 管理・監督職の人数が減ることになるが、この減少による人件費の削減額は、どのくらいになるのか伺います。

答 年間で概ね2千万円から2千500万円と試算しています。

◇議案第68号 館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について

問 通勤手当について、通勤距離の区分ごとに改正額に違いがあり、統一性が無いのはなぜか伺います。

答 千葉県が毎年4月から6月に行っている民間給与との比較調査において、公務職員の支給額が民間を下回っているとの結果を受け、民間との差額相当額を引き上げているためです。



令和7年第4回12月定例会は11月28日に招集され、12月22日までの25日間の会期で開催し、市長提案の一般議案4件、条例議案7件、補正予算議案7件、人事案件1件、議会提案の条例議案2件、請願1件を審議しました。

初日に、補正予算議案1件を先議し、原案どおり可決しました。その他議案16件は、所管する各常任委員会に付託し、審査しました。最終日に各委員会審査の結果を報告し、追加議案2件とともに審議し、慎重審議の結果、全ての議案について、原案どおり可決、同意しました。請願については、採択となりました。

文教民生

昇 平二之子
長里 洋雄 敬順
委員 榮里
委員 澤栄
望月 本委 東 渡 石 鈴
副委 本委 東 渡 石 鈴

◇議案第69号 館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

問 多機能端末機による申請状況を伺います。

答 住民票、所得証明書、印鑑証明書、合わせて6千348件で、19・6%がコンビニ交付による申請です。将来的には、40%を目指しています。

◇議案第75号 令和7年度館山市一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ4億837万4千円を追加し、総額229億9千58万9千円としようとするものです。

問 農林水産業費の有害鳥獣対策費に関して、今年度のイノシシの捕獲状況を伺います。

答 11月末までの状況で、捕獲頭数は1千925頭です。うち、食肉加工施設への搬入は465頭です。

◇議案第71号 館山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

文教民生委員会には、5件の議案が付託され、慎重審査の結果、議案第71号は賛成多数をもって、その他の議案については、全員一致をもって可決されました。主な質疑応答及び討論は次のとおりです。

問 本制度の狙いは何でしょうか。

答 国が期待している成果の1点目は、未就園児にとって、集団生活を経験する機会が広がり、社会性やコミュニケーション能力などが育成され、発達面の効果が期待されることです。

2点目は、保護者の就労の有無や、預ける理由を問

わず利用できることで、育児の負担感や孤立感が軽減され、保護者の心身のリフレッシュや相談支援につながることで、虐待の防止や産後うつ等の軽減など、早期のリスク対応が可能になることです。

保育所等が地域の子育て支援の拠点として機能すること、家庭と専門職のつながりが強まり、切れ目ない支援体制の構築にもつながることが狙いです。

問 本制度に対する、市内の事業者の反応について伺います。

答 市内の民間事業者に聞いたところ、保育士などの人材確保の難しさ、保育の質の低下や、現場負担の増加への懸念がある。一時利用児と在園児が混在することによる安全確保や、発達段階に応じたきめ細やかな対応ができるか不安である。国から詳細が示されておらず、制度や財政支援について不透明な部分があり、安定した経営が確保できるか判断しづらいなど、慎重・否定的な意見が多く聞かれました。

【反対討論…渡辺雄二議員】

「子ども誰でも通園制度」の理念は否定するものではないが、国が示している内容は、その理念を実現するものではないと考える。短時間の預かりでは、子どもの発達保障までは行われないのではないかと。また、定期的にご利用していない子どもを受け入れることで、安全確保についても危惧される。もう少し条件を整えてからの制度実施を要望し、反対します。

【賛成討論…本澤栄里子議員】

本条例の目的は、設備や運営の基準を明確にすることで、適切で質の高い支援を確保することにある。短時間の利用でも保護者の孤

立感を和らげ、子どもにとっても家庭以外の環境で人とかかわる経験になり、利用を重ねる中で子どもと保育者のかかわりも深まり、より質の高い保育へとつながっていくことが期待されるので、賛成します。

◇議案第73号 館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について

問 純真保育園の跡地利用については未定とのことだが、遊具や備品については、今後どのように活用するのかが伺えます。

答 使用できるものについては、他の園や施設等で有効活用できるよう検討しています。

◇議案第78号 令和7年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 家族介護用品購入費の内訳について伺います。

答 介護度に応じて、年間10万円を限度に、紙おむつ等を現物支給しています。近年の動向から、高齢化を見越して増額しました。



建設経済

委員長 夫長聖 春浩重章
 副委員長 野田井山 邦孝信光
 委員 佐安倉石秋

建設経済委員会には、1件の議案と1件の請願が付託され、慎重審査の結果、議案・請願ともに、全員一致をもって可決・採択されました。主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第79号 令和7年度館山市下水道事業会計補正予算(第1号)

問 債務負担行為の中に、脱水機保守点検業務委託料があるが、処理場では汚泥を乾燥させていないのか伺います。

答 水処理を行った際に、底部に溜まった汚泥を水と一緒に吸い上げ、水分をろ布で搾り取るので、乾燥等は行っていません。汚泥は焼却処分、一部セメント系の材料として再利用しています。

◇請願第11号 「那古都市下水路の整備促進に関する請願」

問 一部完成後から、しばらく工事が進んでいない要因を伺います。

答 平成8年度から平成12年度の間、海岸から市道3016号線までの区間を整備しています。この整備により、海岸通りの道路冠水被害が解消されるなど、一定の効果が発揮されました。その一方で那古下水路と同様に、市内各所の排水路で発生している溢水被害を少しでも解消するため、その時の被害状況から整備の優先順位を検討し、整備を実施してきました。

問 一部工事終了から25年経っているが、その間に那古下水路に関する請願や陳情はあったのでしょうか。

答 平成12年度の整備完了後、請願や陳情が提出された記録はありませんが、平成3年8月に「那古下水路及び大芝排水路の改良に関する陳情書」が提出されています。この陳情に対しては、平成8年度から平成12

年度までの整備により、溢水被害が軽減したものと考えています。

問 第5次総合計画の地区別ビジョンに「那古下水路を改修する等、排水対策を推進し、居住環境の向上を図る」と明記されているが、改めて、那古下水路に対する認識や位置付けについて伺います。

答 那古下水路については、第5次総合計画に改修すべき排水路として記載しており、市としては、優先的に整備すべき排水路であると認識しています。

【採決】 本会議においても、全員一致をもって、採択するものと決しました。

追加議案

定例会の最終日には、補正予算議案1件と、人事案件1件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決、同意しました。

◇議案第81号 令和7年度館山市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出の補正として、それぞれ5億1千779万4千円を増額し、総額235億838万3千円としようとするものです。

問 物価高騰重点支援地方交付金費について、支援方法を検討する中で、商品券を選んだ理由を伺います。

答 キャッシュレス決済に対するポイント還元事業などの場合、特定の利用者しか使用できないこと、また、お米券配布や現金給付の場合、市外でも使用が可能となるため、誰でも使用でき、市内において確実に消費が見込まれ、複雑な制度設計や手続きを必要としない商品券の一律配布とすべきと考えました。

◇議案第82号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について

任期満了となる館山市固定資産評価審査委員会委員について、引き続き、谷野秀紀さんを適任と考え、選任するものです。

発議案

◇発議案第6号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会勧告に準じ、期末手当の支給月数を引き上げる改正をします。

◇発議案第7号 館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定に伴い、館山市議会委員会条例の改正が必要となったため、所要の改正をします。



(5)

たてやま議会だより

令和7年第4回 定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果	結果
議案第64号	令和7年度館山市一般会計補正予算(第4号) ※先議	—	原案可決	全会一致
議案第65号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の一部廃止及び千葉県市町村総合事務組合同規約の変更に関する協議について	総務	原案可決	全会一致
議案第66号	安房郡市広域市町村圏事務組合同規約の変更に関する協議について	総務	原案可決	全会一致
議案第67号	館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	全会一致
議案第68号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	全会一致
議案第69号	館山市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決	全会一致
議案第70号	館山市基本構想を定めることについて	総務	原案可決	全会一致
議案第71号	館山市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	文教民生	原案可決	賛成多数
議案第72号	館山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第73号	館山市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第74号	館山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	文教民生	原案可決	全会一致
議案第75号	令和7年度館山市一般会計補正予算(第5号)	総務	原案可決	全会一致
議案第76号	令和7年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	総務	原案可決	全会一致
議案第77号	令和7年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	総務	原案可決	全会一致
議案第78号	令和7年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)	文教民生	原案可決	全会一致
議案第79号	令和7年度館山市下水道事業会計補正予算(第1号)	建設経済	原案可決	全会一致
議案第80号	変更契約の締結について	総務	原案可決	全会一致
議案第81号	令和7年度館山市一般会計補正予算(第6号)	—	原案可決	全会一致
議案第82号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案同意	全会一致
請願第11号	那古都市下水路の整備促進に関する請願	建設経済	採択	全会一致
発議案第6号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決	全会一致
発議案第7号	館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決	全会一致

私の判断は



令和7年第4回定例会 議案等の賛否 賛否が分かれたもののみ掲載

(○:賛成、×:反対)

議員名	東洋平	渡辺雄二	安田邦春	本澤栄里子	鈴木明子	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	石井信重	鈴木正一	秋山光章	鈴木順子
議案第71号	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○

お詫びと訂正

前号(令和7年12月号)6ページに掲載した、令和7年第3回定例会の議決結果に誤りがありました。認定第2号及び認定第4号の議決結果が「賛成少数」となっていますが、正しくは「賛成多数」です。お詫びして訂正いたします。

一般質問

は、市政について、本会議の場で、市に
対し議員が質問を行うものです。

年齢は
2月1日現在



鈴木ひとみ 議員
2期目・67歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会委員長)

子育て環境の充実

問 市立幼稚園の3歳児保育、こども園での3歳児の短時間保育の実施について伺います。

答 基本的な生活習慣や社会性、言語・情緒の発達が促進され、子ども同士がかかり合うことや、遊びを通じた学びによる発達面での効果が期待されるため、3歳児教育・保育は有意義であると考えています。しかし、運営面・施設面での課題もあり、新たな人員配置や施設改修に要する費用など総合的な検討が必要で、今後、ニーズが顕著に高まり、人員や施設面での整備の見通しが整えば、公立での実施の可能性について改めて検討したいと考えています。

解説 3歳は社会性が芽生える時期であり、子どもたちが家族以外と触れ合うことは、情緒面でも、

発達面でも大きな意義があります。また、保育士等により発達などの遅れが早く発見され、適切な対応がなされることも期待できます。私立こども園2園から距離のある、館山幼稚園の3歳児、房南こども園での3歳の短時間保育の受け入れを希望します。

問 子ども食堂、地域食堂を実施する際に、公民館などの公共施設の料金を免除できないか伺います。

答 規定により、市の執行機関や市内の学校教育機関は免除、市内の社会教育関係団体は50%減額しています。子ども食堂などを行うボランティア団体も、社会教育活動としてサークル登録していただければ、50%減額という使用料金の優遇措置を受けることは可能です。

解説 子ども食堂や地域食堂は、子どもたちの居場所となり、孤立を防いで、地域の中で様々な人が支え合う大切な役割を果たします。ボランティアによる運営で、資金面で苦労しています。「支え合いのまちづくり」を目指す館山市は、積極的な支援を行うべきと考えます。



渡辺 雄二 議員
1期目・53歳・八幡
日本共産党
(文教民生委員会委員)

那古下水路 近隣地域の溢水状況

問 那古下水路については、「大雨の時に溢水する箇所がある」と地元住民の方々から聞いています。溢水が発生する要因や整備状況などについて伺います。

答 那古下水路において溢水が生じる大きな要因は、水路の断面不足に加え、昨今の降雨量の増加や、農地などの宅地化による貯水機能の低下により、雨水が短時間で排水路に流入するようになったことなどが考えられます。

那古下水路末端における整備状況については、海岸通りの市道3016号線から海までの区間は、平成12年度までに工事を完了していますが、JR内房線大芝踏切から市道3016号線までの区間については未改修のため、今後の整備予定については、他の大規模事業の進捗状況や財政状況などを踏まえ判断していきます。



溢水時の様子

解説 那古下水路近隣の一部地域は、大雨が降ると溢水により道路などが冠水してしまい、その状態が長年続いています。那古下水路は平成12年度までに市道3016号線から海岸までは整備をされましたが、以後の整備は進んでいません。地元住民の方々の思いは切実で、早期の下水路整備と溢水解消を要望しました。



鈴木 明子 議員
1期目・66歳・山萩
公明党
(総務委員会副委員長)

子どもの居場所づくり

問 子どもの居場所づくりに対する見解と、ボランティアや地域による支援について伺います。

答 子どもの意思発想が尊重され、いつでも「行きたいときに行ける」と実感できる関わりの方が地域社会の中に育まれることが、館山市における居場所づくりの核心であると認識しています。ボランティアや地域に対しては、相談に丁寧に対応し、制度や補助金等の情報提供を行い、関係機関との顔の見える連携体制の構築を支援していきます。

解説 ヤングケアラー、児童虐待、不登校、自殺者が増加するなど、子どもを取り巻く環境は厳しさが増し、複雑化しています。再編後の空き校舎などに、小中学生に希望の多い、見守りのある安心して過ごせる居場所を設けることや、地域による子どもの居場所の運営、ボランティアによる子ども食堂への支援を要望いたしました。

地域防災のあり方

問 自主防災計画の策定について伺います。

答 来年度から、市の防災担当職員と、各地区の町内会や自主防災組織等が一体となり、地区防災計画の策定や、自主防災組織の活動計画の見直しに着手する予定です。

問 防災士の位置付けと役割について伺います。

答 災害による被害を最小限に抑えるためには、地域住民を主体とする地域防災の取組が必要です。その際、中心として防災士の役割は重要であり、専門的な知識を活用し、地域の防災リーダーとして自主防災組織の活動を牽引していただくことを期待しています。

解説 館山市では防災士資格取得に係る費用の助成を行っており、現在149名の防災士が養成されています。今後、研修や防災士同士の横のつながり、地区との連携など、防災士が各地域に定着し、その役割を果たせるよう行政として取り組まれることで、本市の災害対応力を補完し、市民の命と財産を守る大きな力になるのではないのでしょうか。



秋山 光章 議員
6期目・79歳・大井
市民クラブ
(建設経済委員会委員)

市長の政治姿勢を問う

問 3年間の実績について伺います。

答 公約の実現に向けた取組の一例を挙げると、雇用機会の創出のための企業立地奨励金等の助成、子育て環境の充実のために公私連携幼保連携型の「認定こども園OURS 館山」を開園しました。また、「館山市立小中学校再編計画」を策定し、適正な学校規模の維持を図るための再編を進めています。さらに、市街地循環バス等を導入し、高齢者等の移動手段の確保に努めています。加えて、生活圏を共にする南房総市と「定住自立圏形成協定」を締結して定住に必要な生活機能の確保と地域経済の活性化を図るために、観光プロモーションや中小企業に対する支援等に取り組んでいます。
ふるさと納税は返礼品の磨き上げなどに取り組んだ結果、令和6年度は前年比で約66%の増額を達成しました。

解説 12月9日で市長1期の3年が経過しました。コロナ禍や物価高騰の中、やりくりしながら市民の安心安全のために頑張っている市長の公約は、未だ道半ばかと思いますが、館山市には素晴らしいポテンシャルが揃っているの期待しています。

館山市の観光施策

問 観光で生きる館山市として、今後どのような施策があるか伺います。

答 観光を取り巻く環境や旅行者のニーズは多様化しており、そこにはかき足せないモノ・食べられないモノ・体験できないコトなど、そこに行かなければできない体験型の観光がトレンドとなっています。館山市は豊富な観光資源を有しており、首都圏にも近いメリットを活かし、観光誘客の促進を図ります。

解説 熱中症対策として屋外練習場に夜間照明を完備し、宿泊・観光とスポーツを両立／平砂浦地域の道の駅の早期再開／地元産品作りのため若手起業者に支援／館山駅西口付近に発信力のある資生堂パーラー等を誘致。以上を要望しました。



瀬能 孝夫 議員
4期目・68歳・佐野
公明党
(建設経済委員会委員長)

軽自動車税減免について

問 中古車販売店で陳列している軽自動車への、課税状況について伺います。

答 館山市市税条例では「商品であって使用しない軽自動車等に対しては、軽自動車税を課さない」という課税免除の規定を設けています。この規定に基づき、館山市では事業者から申請された内容を精査し、課税免除の要件を満たした場合には、実際に課税免除を行います。

解説 千葉市は令和8年度分からナンバーがある商品軽自動車も、店内移動等による走行距離を考慮し、10km未満を条件として税金を免除することとしました。本市も中古車販売店で陳列している軽自動車への課税免除を条例で謳っていますが、多くの市内事業者は知らされていなかったことから一刻も早く中古軽自動車販売店へ向け、免除周知の徹底を訴えました。

稲村城の跡地利用

問 跡地の有効活用について伺います。

答 里見氏稲村城跡は平成24年に国史跡の指定を受けました。保存管理計画書では、公有地化に向けた実施計画の作成について記載しましたが、厳しい財政状況により、用地取得も進んでいません。現在作成中の「文化財保存活用地域計画」において、道の駅グリーンファーム館山等の他分野との連携や、南房総市の岡本城跡との広域的な連携による活用を目指します。稲村城跡とその周辺を面として捉えた視点からの整備について、実施可能と判断されれば、国や県と協議を重ねてまいりたいと考えています。

解説 稲村城は房総里見氏の初代から四代までが居城し、1530年代の姿をそのまま現代に残した貴重な城です。また、房総半島の中でも同時期としては抜きん出て大きく、里見氏のまちづくりを推進する本市にとって最も価値ある歴史・文化遺産であり、地域資源としても強力な観光資源になり得る史跡と期待しますので、早急な整備を求めるものです。



太田 浩 議員
4期目・70歳・塩尻
市民クラブ
(総務委員会委員)

防災対策について

問 南海トラフ地震への対応と、避難所の確保や食糧の備蓄について伺います。

答 南海トラフ想定震源域周辺で強い地震などが発生した後の調査で「巨大地震警戒」が発表されると、国から国民に地震に対する日頃の備えを再確認することに加え、津波浸水想定区域内の住民は、いつ津波警報が発令されても速やかに避難できるよう備えておきます。館山市の指定避難所として30か所を指定しており、収容人数は合計3千107人となります。備蓄食糧は飲料水約3万リットル、食糧3万食です。これは事前避難時の食料として想定しているものではありません。

解説 気象庁が発令する各種情報に対しての行政としての対応と、官民一体となった事前の備えと知識の確認及び市民への適切な指示の確認を伺うものです。

都市計画道路について

問 都市計画道路の今後の整備計画と、青柳大賀線の現状と今後の計画について伺います。

答 現在の路線数は12路線であり、総延長は約49キロメートルとなっています。現在、船形館山線の整備の進捗に努めておりますが、一方で、長期未整備・未着手となっている路線や区間については、その一部を廃止する方針としており、引き続き千葉県と協議を進めていきます。

青柳大賀線は、総延長4千340メートルのうち、764メートルが一部供用開始されています。本路線の整備については、現在進めている船形館山線整備事業の完了後に、その時点の財政状況などを踏まえて判断していきます。

解説 都市計画道路は道路ネットワークの構築により、交通の円滑化、観光振興等により地域の活性化の効果が期待され、また、防災上の観点からも重要なものとなっています。青柳大賀線についても、あらゆる面において貴重な役割を果たす路線であることから、次期都市計画道路整備路線として要望しました。



東 洋平 議員
1期目・41歳・長須賀
市民クラブ
(文教民生委員会委員)

関係人口の可視化について

問 国は今年6月、定住でも観光でもない形で地域と関わる「関係人口」について、「今後10年間で実人数1千万人、延べ人数1億人を目指す」と地方創生2・0の基本構想に明記しました。本市では国の方針を踏まえ、拡大に向けた受入れ施策や登録制度を検討しているのかを伺います。

答 館山市における関係人口は、出身者、二地域居住者、ワーケーション滞在者、ふるさと納税のリピーター、各種イベント参加者等が該当しますが、一体的な集計はしておらず、登録制度も未整備です。今後は先進自治体の事例を研究し、拡大に取り組みます。

解説 関係人口には、その受け皿となる人や活動が重要です。本市は市民主体の活動も多く、自然に恵まれ、都市部との立地環境も踏まえて非常に有利な条件が整っています。まずは、関係団体の協議の場の設置を要望しました。

小規模特認校と 学びの多様化学校



小規模特認校パンフレット
(館山市ホームページより)

問 来年度開校する小規模特認校と、令和9年度開校予定の不登校児童生徒の新たな学びの場となる、学びの多様化学校の進捗状況について伺います。

答 小規模特認校は、自然を活かした探究学習や自由進度学習を柱に準備が進み、すでに通学申請も出ています。教職員配置は、必要性を踏まえ県に加配を要望しています。学びの多様化学校は、全国的な不登校増加を背景に検討が進められ、館山市では、独立した本校型として早期開校を目指します。

解説 標準規模校、小規模特認校、学びの多様化学校の3類型がそろった自治体は県内唯一に。学びの選択肢を増やすことは、子ども一人ひとりを守るだけでなく、教育を軸とした「選ばれるまちづくり」につながります。今後も積極的な発信と着実な整備を求めています。



石井 敏宏 議員
4期目・53歳・上真倉
緑風会
(総務委員会委員)

渚の駅の指定管理化

問 “渚の駅” たてやまは、窓口業務だけではなく、全館を指定管理にして、民間活力を存分に活かすのが良いのではないのでしょうか。

答 “渚の駅” たてやまは、海と陸とをつなぐ交流拠点としての役割に加え、市立博物館分館としての機能を持ち、旧千葉県立安房博物館から引き継いだ国指定重要有形民俗文化財など、貴重な文化財を多数収蔵・展示しています。そのため、全館を指定管理とする場合は、指定管理者側で学芸員を確保し、文化財の保存・維持管理や活用等を担う必要があります。

“渚の駅” たてやまの魅力向上、サービスレベルの向上、来館者の満足度アップは、大変重要ですが、文化財の受入・保存・劣化防止、収蔵庫管理、展示企画といった博物館機能を継続的に確保するためには、専門的な職員の配置と適正な保存環境・運用手順が不可欠となります。

全館を指定管理に移行する場合、これらの要件を満たす事業者の確保、公共性・継続性の担保が課題となります。一方“渚の駅” たてやまは、近年多くのお客様に越えたいだいでいますので、民間事業者の活力を活かした自主事業による更なる魅力向上が望めること、施設管理業務の負担が減ること、館山市にもメリットがあることは十分に認識しています。

“渚の駅” たてやまは、交流拠点としての賑わい創出と、博物館分館としての地域の歴史・文化を広く伝える機能の両立が求められる効果的に達成するため、これまでの運営実績等を踏まえながら、館山市が目指すコンパクトでしなやかな組織体制の下、指定管理の導入も視野に、来館者満足度を向上させるとともに、経済的な効果と公共性を両立させる最適な管理体制を構築していきたいと考えています。



“渚の駅” たてやま内の
渚の博物館で紹介されている
重要有形民俗文化財
「房総半島の漁撈用具」
(館山市立博物館提供)



鈴木 順子 議員
9期目・75歳・上真倉
じゅん風
(文教民生委員会委員)

介護保険の課題と今後

問 団塊の世代が後期高齢者となり、介護をめぐる状況は一層厳しい局面を迎えます。介護の現場では様々な問題が指摘されています。館山市の介護保険の課題と今後について、どう捉えていますか。

答 主な課題としては、「介護保険財政の安定化」及び「介護人材の確保と定着」が挙げられます。他にも課題はありますが、根本的な課題解決には国全体での対策が必要と考えています。財源負担の見直しについて、重点提言として様々な機関を通じて国・県に要望しています。

解説 館山市の高齢化率は41%を超え、75歳以上の高齢者が増えている状況にあります。介護保険の安定を目指すには、高齢化率の高い県内の安房・いすみ両地域の首長と協力して、財政の負担増及び人材確保の仕組みづくりについて、国に強い働きかけをするべきと考えます。

赤山地下壕跡の

崩落に調査を!

問 赤山地下壕跡の崩落について、詳細な調査が必要と考えますが、館山市としての見解を伺います。

答 赤山地下壕跡は全国的にも貴重な戦争遺跡であり、多くの方が訪れる史跡です。館山市としては多様な価値を持つ文化財として、まちづくりの資源として、平和学習の大切な学びの場として、引き続き保存活用を図っていきたくと考えています。現在の地下壕跡の状態を把握するため詳細な調査方法を検討しており、調査結果を踏まえ、安全性が確保できたら見学を再開する考えです。

解説 一昨年の崩落に続き再度の崩落なので、多方面からの詳細な調査を望みます。



安全な見学再開が待たれる赤山地下壕跡

消防団活動の充実



佐野 聖一 議員
2期目・50歳・波左間
市民クラブ
(建設経済委員会副委員長)

問 消防団活動の充実した支援について、準中型車免許取得補助についてどう考えていますか。

答 平成29年の道路交通法改正により、普通自動車免許では3.5トン以上の消防車両を運転できなくなりました。準中型自動車免許の取得補助は、消防車両の迅速な出動を可能にするともに、消防団に加入する動機の一つになり得るものと考えられます。補助制度の導入に向けては検討を進め、消防団活動の充実に努めていきます。

解説 団員の確保及び定着に向けて、消防団と行政機関の連携を更に密にし、問題解決に向け更なる支援を要望いたしました。

新規狩猟者の確保とハンター育成

問 新規捕獲従事者の確保及び、ハンター育成の環境整備について現状はどうですか。

答 県主催の研修や、館山有害鳥獣対策協議会が主催する講習会、館山市と南房総市が合同で研修会を行っています。また、安房猟友会に所属する猟銃免許を持つ捕獲従事者を対象に、千葉県猟友会主催の技能講習会が行われています。

館山市としても新規捕獲従事者の技術向上のため、ベテランの従事者と一緒に行動し、技術を学ぶことができる環境の整備に取り組みしていきたいと考えています。

解説 ベテラン捕獲者やハンターから、技術を継承しやすい環境、実地研修のできる環境整備が大切だと考えます。

歴史文化遺産の活用

問 歴史文化遺産の活用について、民有地にある遺跡の保存、活用について現状はどうなっていますか。

答 所有者に対しては適切な保存をお願いしているところです。また、歴史文化遺産を郷土の歩みを示す館山市の貴重な財産と捉え、文化的資源としての活用に取り組んでいます。現在、館山市文化財保存活用地域計画を作成中であり、この中で、継続性と一貫性のある文化財の保存、活用の一層の促進を図ってまいります。

解説 所有者だけでなく、市としても遺跡の保存について更に支援を要望いたしました。無くなった遺産は戻りません。

第11回 議会報告会 アンケート結果の概要

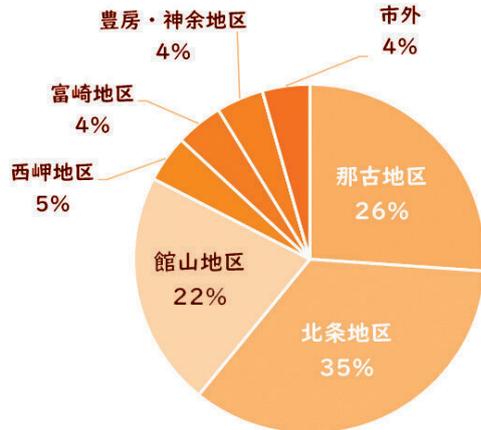
貴重なご意見
ありがとうございました。

議会報告会の詳細はこちら



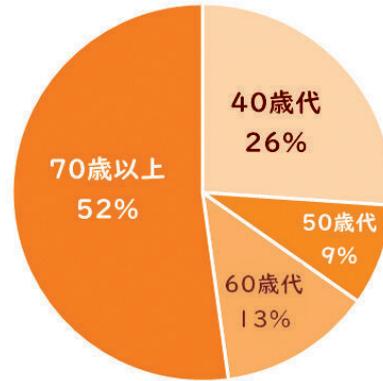
- ◇開催日 令和7年10月25日(土) 館山市役所本館2階会議室
 ◇参加者 28人(午前15人/午後13人)
 ◇アンケート回答 23人
 ◇内容 ①常任委員会の審査報告
 ②意見交換 テーマ あなたの議会 どうあってほしい?
 ~議会に期待することを聞かせてください~

参加者のお住いの地区



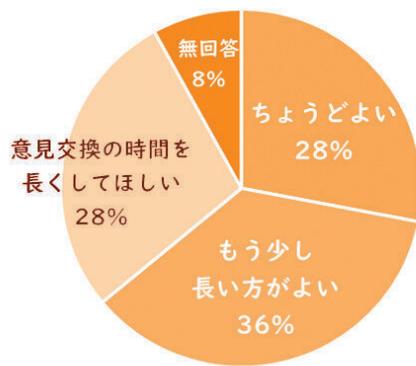
- * 那古・北条・館山の3地区からの参加者が全体の80%以上でした。
- * 船形・神戸・館野・九重地区からの参加者はいませんでした。
- * 多様な意見を聞くために、多くの地区から参加していただけるような取組が必要です。

参加者の年代



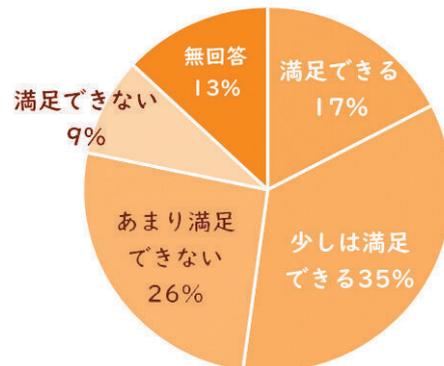
- * 参加者の半数以上が70歳以上の方でした。
- * 40歳未満の参加はいませんでした。
- * 多様な意見を聞くために、若年層の方にも参加していただけるような取組が必要です。

開催時間(90分)について



- * 意見交換の時間を含め、時間を長くしてほしいという回答が半数以上でした。
- * 報告内容の配分や、報告会自体の時間を検討する必要があります。

議会報告会の満足度



- * 「満足できる」と「少しは満足できる」の合計が半数以上でしたが、「あまり満足できない」と「満足できない」の合計も30%以上でした。
- * 報告会の内容を検討する必要があります。

【自由意見(一部抜粋)】

- ・説明に対して、市民目線でもう少し明確にわかりやすくしてほしい。
- ・論点(具体的な項目(例・農業、商業、漁業等))を提起した討議をのぞむ。
- ・各課題について具体的な資料など数値がほしい。
- ・初めて参加したが、市政のことをよく知っている方の意見に考えさせられた。
- ・報告会を毎年開催し、市民からの厳しい意見が出て逃げずに向き合おうとする姿は、他の地方議員でも見習うべきお手本と言えます。
- ・ユーチューブで校名の中継をした試みはとても良いと思った。当事者たちがその空気を感じることができるのはとても良い。



議員が研修会に参加
～安房3市1町議会議長会議員研修会～



令和8年1月16日（金）／館山市コミュニティセンター
安房3市1町議会議長会議員研修会

1月16日、安房3市1町議会議長会議が主催する研修会に、議員18名が参加しました。
当日は、非営利政策シンクタンク構想日本の熊井成和氏を講師に迎え、「これからの議会—市民と行政をつなぐ力～定数と役割、そして未来～」をテーマに講義をいただきました。
研修で学んだことは、今後の議会活動に活かしてまいります。

行政視察の成果を報告
～市職員へ先進事例を紹介～



令和8年1月19日（月）／sPARK tateyama
令和7年度自主勉強会（館山市管理職互助会主催）

1月19日、館山市管理職互助会が主催する自主勉強会に、議員18名が出席しました。
当日は、各常任委員会ごとに、昨年10月に視察した全国各地の先進的な取組などを報告し、市職員からの質問にも答えました。
館山市議会では、今後の市政の参考になるよう、行政視察の内容を市職員と共有しています。

たてやま議会だより

表紙写真募集！



★写真のテーマ

館山市内で撮影された季節が感じられる写真
例）四季折々の風景・祭りなど

★応募資格

どなたでもご応募できます

★応募方法

必要事項記載のうえ、画像を添付し、送付先までメールでお送りください（データ容量1～3MB）

★必要事項

- 作品名 ■撮影者の住所・氏名・電話番号
- 撮影場所・年月日 ■作品のご説明

★送付先（議会事務局メールアドレス）

gikai.j@city.tateyama.chiba.jp

市議会情報はこちら

YouTubeで市議会を動画配信

本会議をYouTubeで配信中。パソコンやスマートフォンなどからライブ動画や録画で視聴できます。



LINEで友達に

館山市の公式LINEに登録すると、市議会の開会や議会だより発行などの情報が配信されます。

議場で傍聴 3月定例会の予定

- 開会日：2月25日
- 一般質問：3月2日～4日
- ※午前10時開会 4日は予備日



編集後記

本年もよろしくお願ひ申し上げます。
昨年開催した第11回議会報告会では、市民の皆様との自由闊達な質疑応答が展開されました。参加者の声やアンケートからは意見交換の枠や開催時間の延長、年1回の開催ではなく複数回を希望するなどの概ね良好な評価が寄せられました。一方、参加者の内訳は北条、那古、館山地区にお住まいの方、高齢層や男性が多いといった偏りが見られ、更には年々参加者数が減少しているなど、今後の課題も見えてきました。
少子高齢化・人口減少をはじめ財政健全化など行政の懸案事項が山積する中、議会は政策と課題との整合性を図る、責任ある判断が求められます。昨年にも増して、開かれた信頼される議会を目指す重要性を痛感します。地方議会は、最も身近な民主主義を現出する機会として、市民福祉の向上へ若者や女性、全地域の皆様とより一層の関係強化に努めてまいります。
(瀬能孝夫)

- 【広報広聴委員会】
- 委員長 倉田孝浩
 - 副委員長 東 洋平
 - 委員 安田邦春 佐野聖一
 - 鈴木ひとみ 石井敏宏
 - 瀬能孝夫 秋山光章

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで電話またはメールでご連絡ください。

(番号及びアドレスは下記参照)

